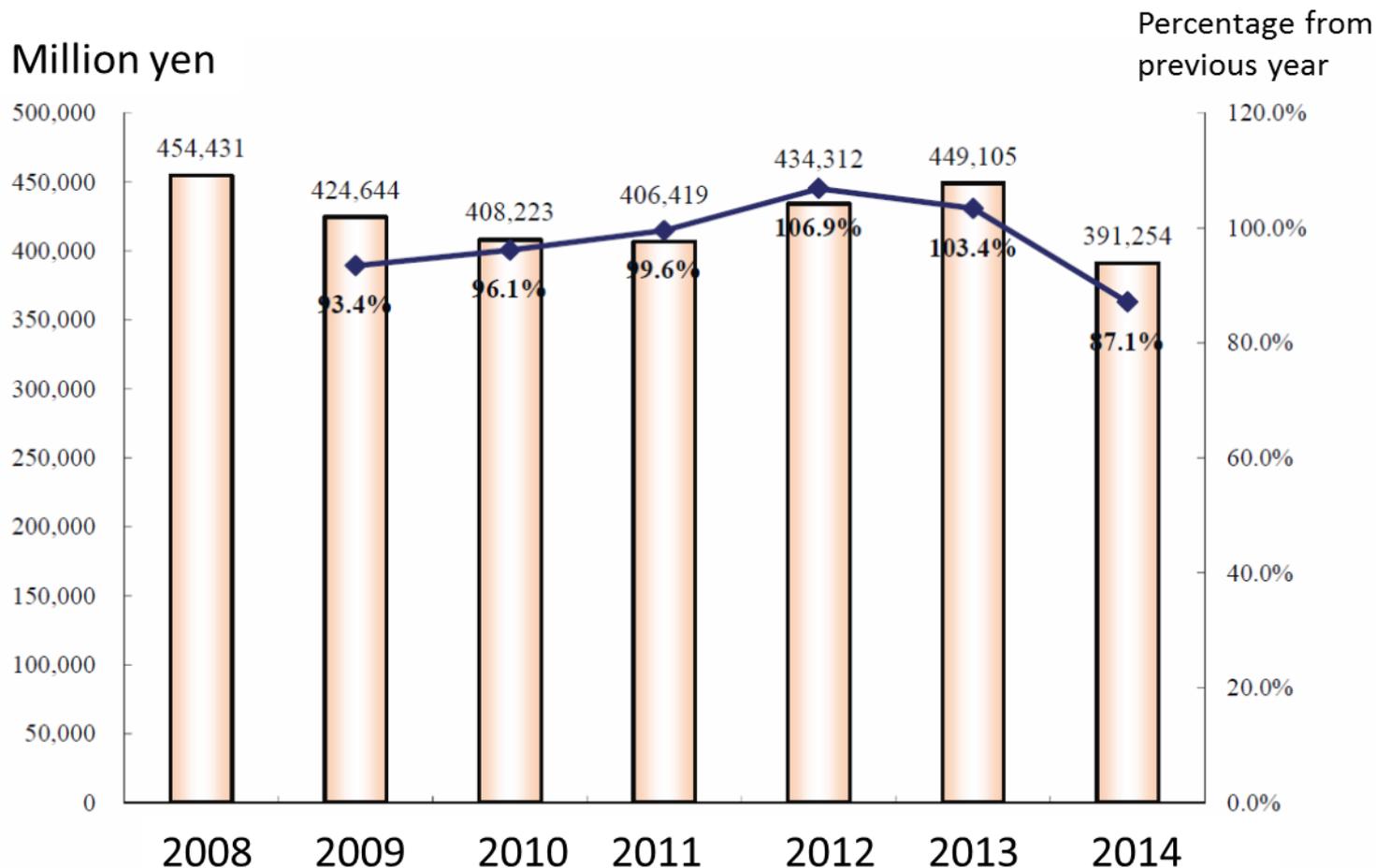


# バイオ肥料の将来性



## 日本の肥料の市場規模の推移



# 土壌改良資材に占める微生物関連資材の推移

Materials	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
Peat	37,134	48,258	50,241	37,365	39,085	39,796	36,811
Bark compost	283,632	287,714	284,429	286,308	274,433	236,015	241,429
Humic substances	10,044	12,071	13,605	15,142	16,305	16,476	15,074
Charcoal	6,100	6,640	6,192	6,478	5,669	5,460	5,977
Diatom soil	254	241	112	509	520	500	509
Zeolite	22,951	20,511	30,800	36,769	35,429	52,900	55,682
Vermiculite	19,756	21,383	17,797	17,012	18,235	15,271	6,547
Perlite	31,266	30,402	19,221	18,015	19,820	18,156	15,270
Bentonite	1,491	930	900	789	851	1,561	1,095
<b>VA mycorrhiza</b>	<b>15</b>	<b>12</b>	<b>11</b>	<b>8</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>7</b>
Polyethyleneimines	232	235	230	231	231	218	217
Polyvinylalcohols	94	118	80	80	0	0	0
Total	412,969	428,515	423,618	418,706	410,584	386,358	378,618

**VA mycorrhiza（菌根菌）は2015年の生産量は7トン**  
**菌根菌資材を1kg当たり 1万2千円と仮定すると市場規模は 1**  
**億円位（農林水産省の統計から引き出した値）**  
**菌根菌資材は日本の肥料市場の売上げの僅か0.03%**

# Global Bio Fertilizer Market 2016 - 2020



Category : Agricultural Chemicals

All logos and images mentioned on this slide belong to their respective owners.

[www.MarketResearchReports.com](http://www.MarketResearchReports.com)



Prof. M. S. Reddy

*Global Bio Fertilizer Market is Expected to Grow at a CAGR rate of 13.90% till 2020.*

Biofertilizers Market Size, 2014 (USD Million)



Source: Expert Interviews and MarketsandMarkets Analysis

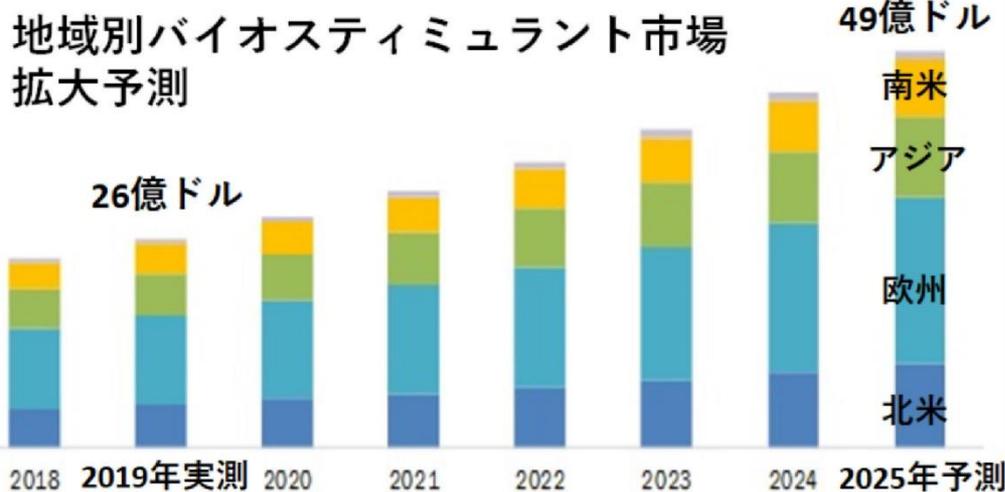
**世界の年間のバイオ肥料マーケットの年平均成長率（CAGR）は13.9%と予測され→2020年には市場規模は2倍になる**





近年世界では、「Sustainable Development Goals」を掲げ、持続的な社会の構築を目指している。

化学肥料や農薬の使用量を減らしても安定的な食料生産が可能な手法を模索し、バイオ肥料やバイオスティミュラント（作物の生育を促進できる多様な資材）等への研究開発投資を増加させており、世界規模での作物の生育を促進できる優れた微生物やその関連資材への研究開発競争が開始されている。



世界的な成長分野であると期待されているバイオ肥料やバイオスティミュラントの利用に関して、日本でもその開発や社会実装に関して組織的な支援が必要と思います。

その様な仕組みが動くことで、日本や世界のバイオ肥料のマーケットを獲得し、その結果、若い人たちの研究の場や関連の職場、さらには、研究資金の獲得等が増えていくのではと期待すると共に、農業現場でのバイオ肥料等の利用拡大も図れるのではと考えております。

是非、ご一緒に市場拡大に取り組みませんか。